

# 学校運営協議会便り

平成 29 年 1 月 16 日

第 8 号



## 第 8 回運営協議会 次第

1. 代表あいさつ
2. 学校長あいさつ
3. 教育委員会あいさつ
4. まちの先生見本市／環境学習発表会
5. サマーワークショップについて
6. 次回予定について

## 地域協働学校運営委員会より

今回は、会長から節分祭のお話、校長先生から AI のお話があり、それぞれに関連し新学習指導要領や地域のお祭り、町の歴史、授業時間とのバランスなど、様々な話が出ました。お正月に西落合町会による凧揚げやコマ回しなどの行事もあり、子ども達にとって人と人が触れ合うような活動が大事だと実感されたそうです。

1 月 2 8 日には新宿区のまちの先生見本市が落三を会場に開かれます。南極越冬隊に参加された方のお話を聞いたり、コートデザインに挑戦したり一風堂のラーメン作り体験などのワークショップや、各学年の出前授業やブース巡りなどもあり子ども達は楽しみにしているとのことでした。参加団体は 50 以上。当日は、学校公開であることもあり、来校者が多くなると予想され安全面を懸念する声もありました。

サマーワークショップでは今年度初めて開催された戸塚第一小学校と戸山小学校の様子が紹介されました。我が校では今後の開催にあたり、地域協働学校運営委員会のできる規模にし、先生の負担を減らしつつ子どもの楽しめる場所を提供できるようにしてはどうかとの話が出ました。

その他、東京オリンピック・パラリンピックに向けて英語教育が盛んになってくるが、日本の伝統文化や日本のアイデンティティを伝えるためには日本語でのモノを考える発想がないと他言語で紹介しようとしてもできないのではないか、という意見がありました。小学生のうちには特に実物を体験させることで日本の伝統を学ぶとともに国語をしっかりと身につけさせ、地域とともに子どもの健全育成、情操面もしっかり育てていきたいとの思いでした。